

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【公開番号】特開2016-78367(P2016-78367A)

【公開日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2014-213437(P2014-213437)

【国際特許分類】

B 27 N 3/04 (2006.01)

B 27 N 3/14 (2006.01)

D 04 H 1/732 (2012.01)

【F I】

B 27 N 3/04 B

B 27 N 3/04 A

B 27 N 3/14

D 04 H 1/732

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月22日(2017.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

纖維を含む材料を乾式で解纖可能な解纖部と、

前記解纖部で解纖された解纖物を気中で滞留させる滞留部と、

前記解纖部から前記滞留部に向かって前記解纖物を搬送する第1搬送部と、

前記滞留部、又は、前記滞留部よりも上流側の前記第1搬送部に、調湿された空気を供給する水分供給部と、

前記滞留部から搬送された前記解纖物の少なくとも一部を用いてシートを形成する形成部と、

を有することを特徴とする、シート製造装置。

【請求項2】

前記滞留部は前記解纖物を攪拌することを特徴とする、請求項1に記載のシート製造装置。

【請求項3】

前記滞留部は回転体を有することを特徴とする、請求項1又は2に記載のシート製造装置。

【請求項4】

前記回転体は、円筒状のふるいであることを特徴とする、請求項3に記載のシート製造装置。

【請求項5】

前記円筒状のふるいの内側に、前記解纖物に接触可能で固定された固定部材を有することを特徴とする、請求項4に記載のシート製造装置。

【請求項6】

前記回転体は、前記滞留部の内部で回転する回転子であることを特徴とする、請求項3に記載のシート製造装置。

【請求項 7】

纖維を含む材料を乾式で解纖する解纖工程と、
前記解纖された解纖物を気中で滞留させる滞留工程と、
前記解纖物の少なくとも一部を用いてシートを形成する形成工程と、
を有し、

前記滞留工程では、前記解纖物に対して、調湿された空気を供給することを特徴とする
、シート製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係るシート製造装置の一態様は、
纖維を含む材料を乾式で解纖可能な解纖部と、
前記解纖部で解纖された解纖物を気中で滞留させる滞留部と、
前記解纖部から前記滞留部に向かって前記解纖物を搬送する第1搬送部と、
前記滞留部、又は、前記滞留部よりも上流側の前記第1搬送部に、調湿された空気を供給
する水分供給部と、
前記滞留部から搬送された前記解纖物の少なくとも一部を用いてシートを形成する形成
部と、
を有する。